



Vol.13

協力隊通信

Spring 2026

前橋市地域おこし協力隊

スローシティ・観光振興分野

村上 史

(むらかみ あや)



佐世保市高島で出会ったスローな味

チッタスロー国際連盟加盟に向けて動いている、長崎県佐世保市高島を訪問しました。相浦（あいのうら）港からフェリーで約20分。市内に住んでいても高島を訪れる人は少ないそうで、佐世保市街とはまた違う、ゆったりとした時間が流れていました。港から少し歩くと、特産品「高島ちくわ」の工場があります。白身魚のエソを贅沢に使い、手間のかかる工程を経て一本一本丁寧に作られています。香ばしい香りと石臼の回る音、ちくわを焼き上げる熱気を感じながら、出来立てをひと口。焼き目の濃淡によって、一口ごとに香ばしさの印象が変わることに驚きました。地元のスーパーでも高島ちくわは買えるのですが、実際に作っている場所の空気や情景、何よりも出来立てをその場で味わえるのは何にも代えがたい経験になりました。ただ食べるのではなく、どこで食べるか、誰がどんなふうで作っているかを知ることは、さらなるおいしさの秘密なのかもしれません。



【地域の魅力紹介】

紅茶専門店LIBERTY

広瀬川沿いにある、様々な種類の紅茶と美味しい焼き菓子を楽しめるお店。日常とは違う、ゆったりとした時間が流れる。



Vol.13

協力隊通信

Spring 2026

前橋市地域おこし協力隊

移住定住促進分野

勅使川原 嘉己

(てしがわら よしき)



人と地域をつなぐ活動を目指して

2025年4月より、前橋市地域おこし協力隊として「移住・定住促進」をテーマに活動しています。

東京都内で開催される移住相談イベントへの参加や、移住者交流会、地域案内企画などを通して、前橋市の暮らしや魅力を発信しています。

活動を通して、「地域とのつながり」や「実際の暮らし」を重視する方が多いことを感じており、地域の方々と移住者・移住検討者をつなぐ機会づくりを大切にしています。

今後も、SNSや動画などを活用しながら、「前橋っていいじゃん」と感じてもらえる情報発信にも取り組んでいきます。



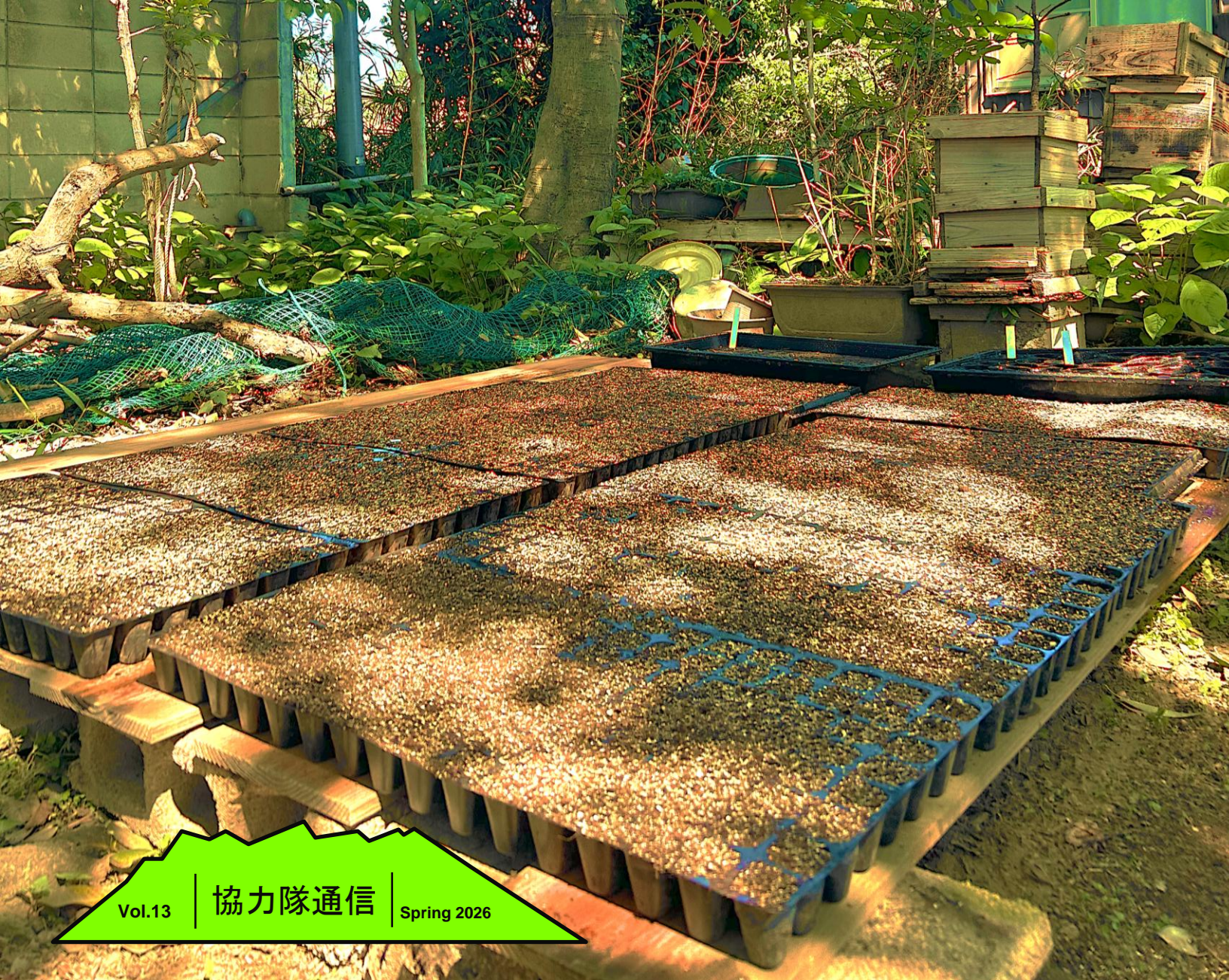
【地域の魅力紹介】

広瀬川河畔緑地

街中にありながら自然を感じることができ、季節ごとに違った景色を楽しめます。前橋市の「自然と街の距離の近さ」を感じられるスポットです。

Instagram→





Vol.13

協力隊通信

Spring 2026

前橋市地域おこし協力隊 地域づくり分野

浅倉 明日花

(あさくら あすか)



【地域の魅力紹介】

敷島公園
桜の咲く季節が最高です。

前橋ってどんな地域？

前橋市の地域おこし協力隊地域づくり部門の浅倉です。出身は岩手県で、東京都から前橋市に移住をして2026年1月から活動をしています。

市内23地区の地域づくり協議会をはじめとする地域づくり団体が行う地域づくり推進活動への参加やサポート、前橋の景色、日常、暮らし、人に関するあらゆる場面を切り取った発信活動をしています。赤城山麓の富士見地区にある有休農地を活用し、自然農でハーブと大豆の栽培にも挑戦しています。景色の美しい畑での作業は有意義なひと時で、自作の育苗土に蒔いた種が発芽した時はとても感動しました。今後は育てた作物を活用し新たな発信や子供向けのワークショップを行う予定です。

まだまだ前橋について知らないことばかりだと日々感じています。お会いした際にはご自身が感じている“前橋ってこんな地域だよ！”を是非教えていただけたら嬉しいです！

Instagram→



KARAKAZE_MAG



Vol.13

協力隊通信

Spring 2026

前橋市地域おこし協力隊

前橋市中心市街地

後藤 美里

(ごとう みさと)



アートでまちをめぶかせる

はじめまして、地域おこし協力隊として前橋に移住してきました、後藤美里です。昨年までは東京藝術大学油画科に在籍していました。協力隊としては、主に前橋国際芸術祭のお仕事をしています。今年第一回目の開催となる前橋国際芸術祭ですが、かなり大規模なイベントであり、毎日事務局として準備に明け暮れています。前橋は、アートやデザインの力で地域の活性化に取り組んでいる稀有なまちであり、様々なプレイヤーの協力のもと、色々な取り組みが行われてきました。そのようなまちで開催される前橋国際芸術祭は、内外に大きなインパクトを与えていると考えています。私もいちプレイヤーとして芸術祭の成功に尽力したいと考えています。また、私自身アーティストとしても活動をしています。今後は前橋で制作や展示を行い、まちなかでのアートシーンに積極的に関わっていきたいと考えています。



【地域の魅力紹介】

本町一丁目カフェ

築100年の古民家を改装したカフェ。内装や店内から見えるお庭の景色が素敵。ランチメニューやカフェメニューもあり、味付けがとても美味しい。ひと息つのにピッタリのお店です。



Vol.13

協力隊通信

Spring 2026

前橋市地域おこし協力隊

前橋市中心市街地

梶 雄介

(かじ ゆうすけ)



前橋という街で活動すること

現在はMMAの一員として、主に前橋国際芸術祭事務局での業務に携わっています。芸術祭開催に向け、アーティストや地域の皆さま、企業・行政など様々な関係者の方々と連携しながら、芸術祭運営や広報、各種調整を行っています。

前橋という土地に根を張って活動してこられた方々から地域のお話を伺いながら、作品やプロジェクトについてお話しする時間は本当に刺激的で、日々学ぶことの多い毎日過ごしています。前橋には、古い建物をリノベーションして活用している店舗や、多くの建築家による新しい建築作品があり、新しいものと古いものが自然に共存していることに、この街の大きな魅力と可能性を感じています。

こうした地域の皆さまとの交流をさらに増やしながら、今後は前橋の中に自分自身のアートの拠点となるような場所もつくっていかねばと考えています。私はこれまで東京を拠点に活動してきましたが、前橋での活動を通して、この街だからこそ生まれる表現や関係性があることを強く感じています。

芸術祭をきっかけに、地域の方々と来訪者、アーティストが出会い、新たな交流や価値が生まれるような場づくりに今後も取り組んでいきたいと思っています。



【地域の魅力紹介】

敷島公園
ちょうど5月中旬の土日には「敷島本の森」が開催されていました。様々な書店さんのテントを巡りながらお気に入りの一冊を手にとりながら過ごす事ができました。



Vol.13

協力隊通信

Spring 2026

前橋市地域おこし協力隊 前橋市中心市街地

五十嵐 美翔

(いがらし はるか)



前橋だからできることを！

はじめまして。5月より前橋市地域おこし協力隊として中心市街地活性化を担当している五十嵐美翔です。

出身は高崎市で、高校卒業後はアメリカの大学へ進学。帰国後、県外各地のゲストハウスで勤務。国内外さまざまな地域を訪れる中で、改めて自分のルーツがある群馬で活動したいという思いが強くなり、自身での開業を目指して群馬に戻ってきました。なかでも、官民一体となったまちづくりが進む前橋には大きな魅力を感じており、「ここだからできること」に挑戦したいと考えています。そのためにも、まずはまちの中に身を置き、人や場所を知ることを大切にしています。現在は委託先のMMAの一員として、まちなかのシェアオフィス「comm」に出勤していますが、「タヤけマルシェ」や「King of Pizza」など、中央通り商店街が日々表情を変えている様子を間近で感じながら過ごしています。

また、今月から月刊フリーペーパー「まちなか新聞」の取材・執筆も担当することになりました。取材を通してまちの人やお店の魅力に触れながら、その魅力を発信していきたいと思っています！



【地域の魅力紹介】
HEHE coffee & wine

コーヒーとワインの立ち飲みのお店。浅煎りの珈琲がとても美味しい！店内は気持ちいい音楽が流れていて、カウンターのメダカがかわいい。